

開講時期	授業科目	学年	単位数	
前期	地域医療経営の基礎論	修士1年	2単位	
伊藤 一				
目 標				
経営と地域医療に関する基礎知識を学ぶ				
概 要				
地域医療経営の基礎的な知識の習得として、組織内部要因である、経営分野、会計分野(財務会計、管理会計)、保健分野での事業参入について学び、さらに環境要因としての法制度(社会保障制度、知的財産法)について知識を深め、現実に地域医療の現場から地域医療組織を運営している医療法人理事長、医療法人経営スタッフから北海道の地域医療経営の現状を紹介してもらう。				
回数	学習主題	学習内容	到達目標	担当教員(所属)
1	授業全体の概観	ガイダンス	授業全体の学び方を理解する。	伊藤 一
2	経営学概論(1)	医療機関に必要な経営ツールの概説	経営学の基本的知識の習得する。	伊藤 一
3	会計入門(1)	複式簿記の仕組み	大部分の企業が複式簿記を使用している。その記帳システムのごく基本的な骨組みを理解する。	渡辺和夫
4	会計入門(2)	外部報告会計の仕組み	企業会計には会計情報を外部の利害関係者に報告する側面がある。その必要性を理解することが目標である。	渡辺和夫
5	管理会計(1)	管理会計の基礎	経営者および経営管理者の意思決定に有用な会計情報について理解する。	乙政佐吉
6	管理会計(2)	業績測定・評価システムの設計、運用	組織において上位者が下位者を管理するために必要な会計情報および非財務情報について理解する。	乙政佐吉
7	社会保障法制(1)	国民皆保険と自由開業医制	わが国の医療供給体制・診療報酬制度についての理解を深めるとともに、公的医療保障制度の意義と課題を把握する。	片桐由喜
8	社会保障法制(2)	社会保険方式下での医療「経営」の意義と課題	医療保障制度の枠の中で「経営」が何を意味するかを学ぶ。その際、保険者、被保険者、国家および医療機関それぞれの視点から検討し、各自の「経営」「制度維持・運営」に関わる責任についての理解を得る。	片桐由喜
9	知的財産法(1)	特許付与の手続	発明について特許権を取得するには、どのような手続が必要か、その一連の流れを知る。	才原慶道
10	知的財産法(2)	特許要件	特許権を取得するには、どのような要件を満たす必要があるか、新規性・進歩性、先願主義等、その主なものを知る。	才原慶道
11	健康科学(1)	保健医療行政の今後と特定健診・介護予防のねらいと戦略	健康づくり・医療・福祉が連動する地域社会の実現を可能にする行政の取り組みを紹介する。	中川喜直
12	健康科学(2)	健康戦略と予防医学対応型住居のビジネスモデル	今後発展が期待される健康産業に関するビジネスモデルを参考に企画・立案・設計する。	中川喜直
13	地域医療の現状	夕張希望の杜での地域医療の実践。予防医学と地域利用を組み合わせた村上スキームの紹介	夕張市の地域医療の現状を通して急速に少子高齢化が進む我が国における地域医療の問題点を把握する。	古田精一
14	地域医療計画	北海道地域医療計画策定者としての視点	医療制度改革において(地域)医療計画策定が決定された背景を理解するとともに、平成20年3月施行の「北海道医療計画」の内容を確認する。医療法改正で示された「良質な医療提供体制の確立」の一環として示された4疾病5事業への係わりが北海道各地での医療経営に不可欠であることを学ぶ。	徳田禎久
15	経営学概論(2)	各論(医療機関経営戦略・医療連携など)	経営学の知識を医療事業へ応用して実践的に理解する。	伊藤 一
キーワード		医療経営		
履修上の留意点		特になし		
評価方法・基準		最終試験		